

基本目標	安全で快適な魅力あるまちづくり【都市基盤・安全】
施策名	防犯
犯罪の発生しない安全なまちを目指して、防犯教室や防犯のための情報提供の強化、防犯に配慮した道路や公園等の整備・管理、市民・事業者や地域の自主的活動による犯罪の起こりにくい環境づくりなどの取組を推進します。	
施策が目指す蒲郡市の将来の姿 <ul style="list-style-type: none"> ●犯罪が少ない誰もが安心して暮らせる安全なまちとなっています。 ●住民同士の信頼に基づく地域活動で安心して暮らせる地域社会となっています。 	

◆具体化した施策の取り組み実績

1 防犯意識の向上

項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度計画
防犯教室の開催	36回	27回	30回
不審者犯罪情報配信件数(年度末)	6, 212件	7, 279件	8, 000件

2 犯罪の起きない生活環境づくり

項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度計画
防犯灯数	5, 890灯	5, 945灯	5, 995灯

3 地域との連携による犯罪の防止

項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度計画
防犯パトロール	52日	60日	60日

◆評価指標

指標名	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	将来目標
刑法犯犯罪率	目標値	11.5	10.0	8.5	7.0
	実績値	10.77	9.34		平成33年度
メール配信登録者率	目標値	7.7%	8.0%	9.2%	10.0%
	実績値	7.60%	8.80%		平成33年度
	目標値				
	実績値				平成33年度

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
刑法犯犯罪率	人口1,000人あたりの刑法犯認知件数(年間犯罪件数÷国勢調査人口×1000)
メール配信率	不審者犯罪情報配信件数÷国勢調査人口×100

◆指標の分析

年々、刑法犯罪率は減少傾向にあり、市民の防犯に対する関心の高まりがみられる。また、不審者犯罪情報のメール配信件数も増加しており、広く犯罪情報が共有されていると思われる。

◆今後の方針

施策の課題	既存の防犯灯については、老朽化が進んでおり、修繕・取替にて対応していく。防犯灯の新規設置と取替をバランスよく行い、LED化による電気料金の削減にも努めていく。 防犯カメラについては、犯罪抑止の向上にかなり有効であり、警察からも検挙率向上のためにも防犯カメラの設置についての検討を依頼されている。現在、一部の公共施設及び4つのJR駅駐輪場には設置済みであるが、今後新たに設置する施設について検討していく。
-------	--

今後の施策展開	老朽化した防犯灯の修繕・取替え及びLED化の推進。 公共施設、名鉄駅駐輪場及び主要道附近への防犯カメラ設置を検討。 地域における防犯活動の推進。
---------	--

課長評価	構成事業の進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の進め方	B: 一部見直しが必要である。
	コメント	防犯灯、防犯カメラ設置等のハード対策については、限られた財源の中で効果的な展開をしていく必要がある。また、ソフト対策事業については、警察と連携した啓発の推進及び地域の防犯活動のより一層の推進を図る必要がある。

部長評価	施策の進捗状況	B: 目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり進行している。
	コメント	平成23年度限りで交番が廃止された西浦地区に係る防犯対策強化のため、平成25年度に防犯パトロール隊詰所を建設し、平成26年度は同地区に防犯カメラの設置も検討中である。 また、市内8箇所の防犯パトロール隊を中心に、市民による防犯活動もなされており、防犯意識の向上も図られている。

施策に属する事務事業一覧

総合計画	所管課	番号	事業名	人件費を除く事業費(千円)	人件費(千円)	人工	総合評価	事業の種類別	市長マニフェスト	実施計画
3-10	安全安心課	103	防犯灯設置事業費	27,274	2,310	0.55	B	エ	—	○
3-10	安全安心課	105	防犯対策事業	4,366	1,637	0.40	B	カ	2	×
3-10	安全安心課	106	防犯パトロール事業	0	1,882	0.50	B	カ	2	×